

事業の継続・発展を支えるのは人材。独自の教育スタイルで即戦力となる産業人材の育成と創出に取り組む教育機関を訪問しました。

## 建学の精神は実学と学問の両立

京都美術工芸大学は、平成24年に京都府南丹市園部町で開学し、一昨年、京都で最も古い歴史を誇る小学校のひとつ貞教小学校の跡地に東山キャンパスをオープンしました。日本で唯一、工芸学部を有すること、高度な知識と資格などの実学が同時に身につくカリキュラムが特徴で、グループ校の京都建築大学の授業をダブルスクールで受講することにより、多くの学生が在学中に二級建築士資格を取得しており、引く手あまたの人材を輩出しています。訪問時は卒業制作の力作を数多く拝見、



キャンパスをご案内いただいた新谷理事長(右)

ユニークな発想やアイデア、作品への熱意を伺いました。新谷秀一理事長は、長く建設・住宅業界で活躍され、当時から技術習得の重要性を実感、企業の成長には若手技術者育成が不可欠と考え、「自分で即戦力人材を育てよう」と一念発起し、京都建築大学校、京都伝統工芸大学校に続いて、大学をつくられたそうです。ものづくりの国・日本は、先人たちが築き上げた工芸に支えられているという確信のもと、未来の日本を担う若者の教育に日々専心し、産業の振興に寄与されています。

## 学校法人二本松学院 京都美術工芸大学

代表者/理事長 新谷 秀一  
住所/東山区川端通七条上ル(東山キャンパス)  
TEL/075-525-1515  
事業内容/大学・専門学校の経営

## 資格と人格を備えた即戦力人材を輩出



左から社会人課程教務部の妹尾部長、山元学校長、専門課程教務部の今西部長代理

大原簿記法律専門学校の歴史は、昭和32年、東京水道橋の大原簿記学校開校にさかのぼります。京都校の開校は平成14年。「資格の大原」と言えば、簿記をはじめとした会計分野の資格取得が有名で、本所主催の日商簿記検定では、長年、多くの受験者を育成する会場校として協力いただいています。「簿記は経営管理に不可欠で、ビジネスパーソンに必須の資格です」と山元貴司学校長。近年は本所とのコラボセミナーを企画して、幅広い世代に簿記を普及するための取り組みも進めておられます。

## 学校法人大原学園 大原簿記法律専門学校

代表者/学校長 山元 貴司  
住所/下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町672-1  
TEL/075-344-1341  
事業内容/専門学校の経営

また、簿記以外に公務員を目指す課程やスポーツ分野の資格取得コースも展開。それぞれの専門学校課程では、学生の就職支援にも大変熱心に取り組まれています。民間企業への就職率はほぼ100パーセント。寄せられた求人に対して、学校が適切な学生を選び、学生はしっかりとサポートを経て、就職試験に臨めるため、ミスマッチが少なく、就職後も多くの卒業生が即戦力として活躍されています。



## 会頭のひとこと

企業は持続可能な成長や高付加価値の経営に取り組む必要があるが、それを与えるのは多様な人材である。本所においても、京都経済センターを核とし、さまざまな教育機関との連携を一層強化し、会員企業の人材不足解消や将来の担い手育成に取り組んでいきたい。